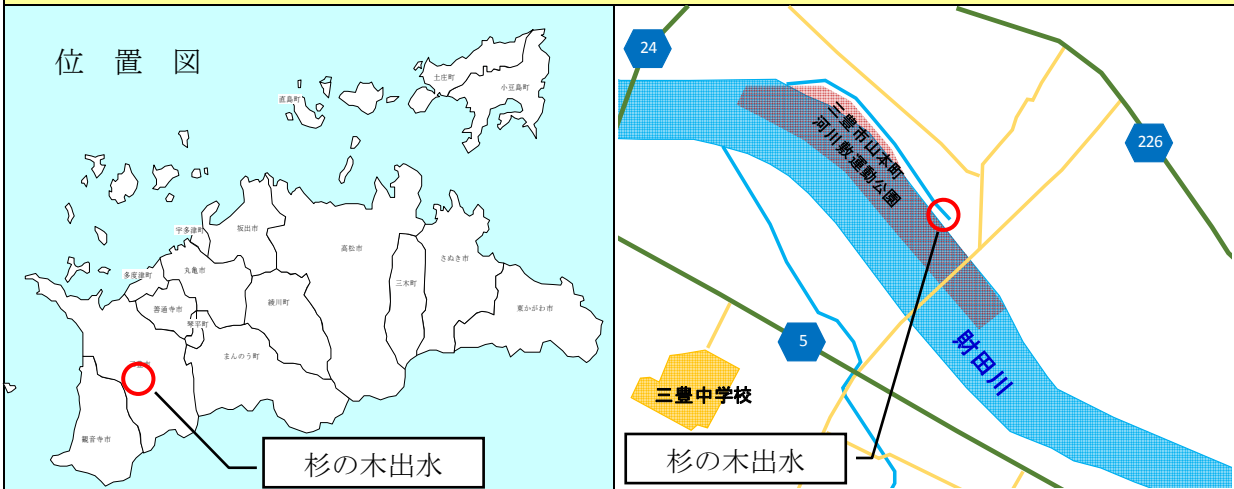


# 杉の木出水（すぎのきですい）



財田川付近には数多くの出水があり、そのうちの一つに、財田川右岸の西光寺橋の袂から少し下流の山本町河川敷運動公園横に、豊中町の麦藁、備中、長湊の各出水の源となる「杉の木用水」と呼ばれる出水があります。「杉の木」という名称は、出水の近くに杉の古木を祀る祠があったことに由来しています。

この出水は、江戸期から財田川の旧川筋を開削した長さ 300m に及ぶ「流れ出水」と、大正 10 年（1921 年）ごろに掘られた浅井戸により、12ha の田畑をかんがいする主要な水源でした。

昭和 49 年（1974 年）に、右岸の堤防を挟んで財田川河川敷に運動公園を造成した際、湧出量を維持するため、杉の木用水の堤防ぎわに栗石を埋めるなどの対策を講じましたが、湧出量は減少してしまいました。

現在は、水辺に生息する生き物に配慮した魚巢ブロック等が設置され、あわせて散策道路や桜並木、休憩所が整備され、地域住民の憩いの場として広く活用されています。

参考文献：「豊中町の池と出水」 発行：豊中町水利組合



杉の木出水



散策道路や桜並木